

# 令和5年度 地域医療構想における具体的対応方針

## 1. 基本情報

病院名：独立行政法人国立病院機構やまと精神医療センター

医療圏：西和

## 2. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

### （1）地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は、精神病床183床と一般病床（重症心身障害）100床を有しております。国立病院機構では近畿管内で唯一の精神医療専門病院である。診療機能としては、精神科急性、結核等合併症、高齢期精神障害及び認知症、精神科デイケア、訪問看護ステーション、強度行動障害、医療観察法に基づく精神医療を提供している。精神科救急については、県の精神科医療システムの輪番制に参加し、一次（初期）及び二次救急医療施設として地域からの患者受け入れを積極的に行うと共にその他の患者についても二次医療圏に留まることなく、県内全域から患者を受け入れている。重症心身障害児（者）病棟では、強度行動障害を伴ういわゆる動く重心の患者の医療と療育を行っており、県内外を問わず広く患者を受け入れている。これからも行政及び介護福祉等関係機関と連携し、待機患者の解消に努めると共に短期入所・通所事業により在宅医療の推進に努める。

## (2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、一般医療を提供する医療機関、退院後の後方支援となる介護福祉施設、社会生活を支援する行政との連携を強化し、地域医療構想の実現に貢献する。そのための地域医療連携機能の一層の強化に努めたい。また、今後も国立病院機構が担うセイフティーネット医療の充実を図るための体制を維持していく。

## (3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようご説明ください。

当院が開催している地域移行・地域定着を目的とし、地域の医療従事者等を対象とした研修会等を通して職種を問わず顔の見える関係を築き、面倒見のいい病院として地域医療に貢献する。

### 3. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※「(2) 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について」を踏まえた具体的な計画について記載してください

※「(3)」では選択肢によって条件設定を行い、回答内容によりそれ以降の問い合わせに対し、システム上回答不要としている部分があります。この条件設定に不都合がある場合（回答することが適しているが選択できない場合など）は「4. その他」へ回答を打ち込んでください。

#### (1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1－2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R5年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び別紙様式「急性期機能の細分化の報告」の数値を記入してください。

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

※最大使用病床数は1年間（R4.4.1～R5.3.31）に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(床)

		H28年度 (a) 許可 病床数	R5年度 許可 病床数	最大使用 病床数	(b) 将来 R7年度	(b-a) H28年度 からの 増減	
一般病床・療養病床	高度急性期						
	急性期	重症					
		軽症					
	回復期						
	慢性期		100	100	100	100	
	休棟中（今後再開する予定）						
	休棟中（今後廃止する予定）						
合計		100	100	100	100		
精神病床		183	183	160	183		
結核病床							
感染症病床							
介護医療院							

→

## (2) 領域ごとの医療機能の方向性について

\*以下[1]～[16]の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

\*選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

### [1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[1-2]手術の実施

[1-3]化学療法の実施

[1-4]放射線治療の実施

[1-5]拠点病院等の指定

[1-6]今後の方向性

### [2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

[2-8]大動脈瘤手術の実施

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

対応していない

[2-10]今後の方向性

### [3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

対応していない

[3-9]奈良県脳卒中地域連携パスへの参加

参加していない

[3-10]今後の方向性

### [4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

はい

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

いいえ

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応していない

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]今後の方向性

精神科救急システムに参加し、輪番制で緊急の外来及び入院が必要な患者に対する一次（初期）救急並びに二次救急医療施設としての役割を担う。

## [5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

はい

[5-2]心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応していない

[5-3]脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応していない

[5-4]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-5]訪問リハビリの実施

対応していない

[5-6]通所リハビリの実施

対応している

[5-7]今後の方向性

精神科デイケアの取組みを推進し、在宅患者の社会参加、QOLの向上を目指す。

## [6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

いいえ

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

[6-4]訪問リハビリの実施（再掲）

対応していない

[6-5]今後の方向性

## [7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

はい

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい（施設名称をご記入ください）（コアラ訪問看護ステーション）

[7-3]今後の方向性

精神科訪問看護に特化した訪問看護ステーションとして、患者とその家族が家庭や地域社会の中で安心して日常生活を継続出来るよう、専門スタッフによる相談、支援をより一層推進する。

## [8] ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について定めている

[8-1]今後の方向性

今年度から重症心身障害児（者）を対象としたACPに取り組んでいる。

## [9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[9-2]小児入院医療管理料の算定

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

[9-4]小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

[9-5]今後の方向性

## [10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[10-2]分娩の取扱い

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

[10-4]今後の方向性

## [11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

はい

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

いいえ

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

いいえ

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]今後の方向性

従来どおり災害派遣精神医療チーム（DPAT）を編成するため、平素から精神科医療の中核的機関としての役割を担っている当院と奈良県立医科大学附属病院、県精神科病院協会等の関係機関との連絡体制を確立する。また、引き続き、奈良県看護協会における災害看護委員会活動への参加、災害支援ナースの養成にも貢献していく。

## [12]べき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[12-2]べき地医療拠点病院の指定を受けているか？

[12-3]今後の方向性

### [13]新興感染症等の感染拡大時における医療

[13-1]診療・検査医療機関の認定を受けているか？

いいえ

[13-2]新型コロナウイルス感染症の陽性患者入院受入を行っているか？

ただし自院に他疾患等で入院していた院していた患者は除く。

はい

[13-3]「感染症患者の受入を想定した研修や訓練」を、年1回以上自院で実施しているか？

いいえ

[13-4]下記訓練に年1回以上参加しているか？

行政機関（保健所等）や他医療機関等が主催する「感染症患者の受入を想定した研修や訓練

はい

[13-5]下記訓練を、自院で年1回以上実施しているか？

新興感染症の発生に備えた病床確保に当たってのシフトや応援に係る訓練・点検、院外から移送された患者の受入の流れを考慮した訓練

いいえ

[13-6]今後の方向性

当院では結核合併症病床と精神科病床の一部を精神症状を伴う新型コロナ陽性患者のための専用病床として運用している。今後起こり得る新興感染症の対応では、これまでの経験を踏まえ、感染拡大期には、結核合併症病床による受け入れを中心とした運用を計画している。

### [14]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[14-1]当該領域について対応しているか？

はい

[14-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

いいえ

[14-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

はい

[14-4]臨床研修協力施設であるか？

いいえ

[14-5]専門研修の基幹施設であるか？

はい

[14-6]専門研修の連携施設であるか？

はい

[14-7]今後の方向性

新専門医研修制度において精神科専門医研修基幹施設として指定され、当院を含む精神科病院3施設及び総合病院2施設が連携の下、専門医取得の研修を行っている。

## [15]医師の働き方改革

### [15-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

### [15-2]今後の方向性

現時点で年間960時間を超える時間外・休日労働は想定しておらず、今後もA水準を維持していく方針である。

## [16]看護職員の研修機能

### [16-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

### [16-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

### [16-3]今後の方向性

令和6年度中に他の国立病院機構病院の協力施設として申請予定である。

## 4. その他